友愛
発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽1-7-1
電話 大塚（941）2801
編集兼発行人 佐々木恵美子
定価 1部 10円

第十五回全国大会

友愛会館建設に本腰

ヨーロッパ・アジア代表参加の下に開かる

第十五回全国大会は去る四月二一尾崎記念会館と青少年総合センターのうちにそのすべてが取り おこなわれ、盛会一われた。

七日より二十九日まで、東京の一の二会場に

入会希望者は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽一ー七ー一
TEL（943）一八八八
友愛青年同志会

開会式

開会式は四月二十七日（土）午後一時より尾崎記念会館に会員四百名を集め盛大におこなわれた。来賓は衆議院議長石井光次郎先生をはじめ、総理大臣メッセージを青少年局長鵜飼弥先生、文部省より社会教育局長末田宏先生、オーストリア大使、青少年団体代表として日本健青会の祐成義次先生等多数のお祝いの言葉があった。

本年はオーストリアよりOJAB会長、ブルーノ・ブーフ・ピィーゼル博士を招き友情の絆を更に深め鳩山薫会長は友愛会館の建設に焦点をしぼっての挨拶がおこなわれ十五周年にふさわしい盛り上りを見せた。会長には普段の御指導のお礼として尾形智短幹事長より全国会員の名において感謝状が授与され本会三柱としての会長がたたえられた。その後、組織写真及び個人写真がおこなわれた。

講演会

記念講演会は開会式に引き続き、一九五八年ローベル平和賞受賞者の、ドミニク・ピール神父により、「友愛の対話による世界平和」と題しておこなわれた。

記念パーティー

十五周年記念パーティーはピール神父の講演の後、参加者全員の会員の参加により開催された。司会は常任幹事の互万君によってお

本会議

四月二十八日午前九時より、オリンピック記念青少年総合センタースポーツ研修棟第二研修室において本会議が開かれた。仮議長に土井昭道青山県連会長を選出し、議長に徳島県、連合会の中村博彦副議長に福島県連副議長の鈴木滋雄君、同じく那覇支部の豊見山さんを選出した。

一般会務報告、会計報告、監査の報告があった後それぞれ承認がなされ、本会議上提の六議題を第一、第二、第三の各分科委員会に附託する旨を宣し午前十一時五十分、たん会開会した。

各分科委員会については、それぞれ分科委員会の報告（別記）がおこなわれる予定である。

中に文化祭と、ÖJAB会長、ブルーノ・ブーフピィーゼル博士の記念講演をはさんでほぼ八時

こなわれ、元文部大臣の剱天先生によって祝辞の音頭がとられた。参議院議員の内藤誉三郎先生はじめ多くの来賓の言葉があり、常任相談役の奥田吉郎先生も一五年を顧みて感謝の話しをした。

その後、友利健三君を囲み十五周年を祝って声を合せようたい、ÖJABの会長、事務局長もオーストリアの歌を唱い十五周年の記念に酔いしれていた。

祝電

リビアル・クーデンホーフ・カレルギー伯爵（本会名誉会長）赤間文三氏（衆議院議員）、麻生良方氏（衆議院議員）、石田博英氏（衆議院議員）、小川半次氏（衆議院議員）、加藤六月氏（衆議院議員）、岡崎英城氏（衆議院議員）、太郎氏（衆議院議員）、世耕政隆氏（衆議院議員）、管大郎氏（衆議院議員）、竹下登氏（衆議院議員）、辻寛一氏（衆議院議員）、野田卯一氏（衆議院議員）、南条徳男氏（衆議院議員）、長谷川峻氏（衆議院議員）、八田貞義氏（衆議院議員）、浜野清吾氏（衆議院議員）、藤本孝雄氏（衆議院議員）、山中貞則氏（衆議院議員）、石井桂氏（参議院議員）、市川房枝氏（参議院議員）、内藤誉三郎氏（参議院議員）、松谷蒼一氏（参議院議員）、大塚忠次郎氏（荒川区議会議員）、山崎康平氏（東京都青少年対策部部長）、星野芳氏（友愛登別支部）、吉田重一郎氏（日本大学会頭）、石原慎太郎氏（作家）、三笠秋子（ガールスカウト日本連盟）、栗谷四郎氏（日本BBS連盟）、山口勉氏（全国4Hクラブ連絡協議会）、日本青年団協議会

大会宣言

此処、オリンピック記念青少年総合センターに於て、我々友愛青年同志会は全国同志一同の名の下に送ある十五周年記念全国大会を開催するに至った。

省り見れば、初代会長鳩山一郎先生は、生前友愛精神普及の為、全国を遊説して多くの若者達に親しく接し、大きな感銘を与えた。

当時我国は、未だ狂乱怒涛の社会の中にあったが、夢と理想に燃えた有為な青年達に熱情を喚起させ、其の波紋は、本会設立の礎となった。

それ以来、十五年の歴史は、同志一同、困難辛苦に打ち克って、全国の組織拡充に努め、その間、社会教育活動、青少年団体に於ける中核となり、国際的にも高く評価されるに至ったのである。

時あたかも我国は、明治百年を迎え、新しい曙光を求めて未来世界の平和と人類の福祉に寄与しなければならない。同志は、二十一世紀の夜明けは近い。この来るべき新世紀に美しい友愛の花を咲かすべく、その原動力となろう。

一九六八年四月二十九日　第十五回友愛青年同志会全国大会

新役員一覧

名誉会長　クーデン・ホーフ・カレルギー伯

顧問　鹿島守之助（常任）、川崎秀二（常任）、石橋正二郎、木村毅、千宗室、萩原吉太郎、長谷川進一、我妻栄

相談役　石橋義夫（常任）、奥田吉郎（常任）、深津栄一（常任）、秋本平十郎、大山良雄、尾崎新次郎、加藤精一、近藤春雄、吉賀一郎、酒井勝郎、沢田成爾、田中重弥、西木まき子

常任参与　飯島清、大西誠治、川手正一郎、高杉信美、田辺克彦、鶴巻克雄、中島信行、柳沢定勝、吉川昭市、原田喜市郎

参与　五十嵐省悟、磯部安伸、海野哲聖、小島孝男、十川昭五、高橋最貞、土井昭道、張西五六、真武信幸、満生雄英子、山川昇、山崎栄、山崎勝巳、渡辺昇

会長　鳩山薫

副会長　富川郎、地崎宇三郎

幹事長　尾形智短

常任幹事　秋山貴殷、飯塚祥太郎、尾形智短、長田正夫郎、川村効子、瓦力、越川暁、斎藤実、佐々木悪美子、清水文夫、添野元晴、田中祥子、辻本勝弘、中川治男、中村博彦、早川広中、三浦喜治

事務局長　早川広中

地方選出幹事　小池雄三、高橋謙二、星野清成、佐藤栄治、星健夫、佐藤暗夫、渡辺幸蔵、金子義昭、河路禎治、長谷部勝歳、佐伯昭一、奥原義一、鞆田晌

相互交流を強調

会館建設による国際親善を

さる四月二十日夜九時二十分着のパン・アメリカン航空機で本会創立十五周年記念式典並び十五回友愛青年同志会全国大会に参加するため本会姉妹団体オーストリア勤労青年連盟会長ブルーノ・ブーフピィーゼル博士、ヨハン・フリッツ事務局長が来日した。

ÖJAB会長、事務局長の来日は、本会との関係をより緊密にするとともに、これからの国際交流活動推進の大きなカとなる。

本会々長との懇談会で、国内組織の充実、日本・オーストリア青年友情会館の建設、青少年グループの国際交流等内容ある提案が出され、本会々長は、国際交流活動の充実が肝要であると指摘した。

ÖJAB会長も全く同感であり、両国で青少年団体のリーダーとして

その地位を更に高めるべく邁進してゆきたいと、相互発展を確認した。

来日中の目程は、佐藤栄作総理大臣、石井光次郎衆議院議長、重宗雄三参議院議長等政府関係者、東京都知事、地方は京都亀岡市の積極的協力により京都の見学並び

木村智明、鳥井敏光、井上信雄、馬場登代光、野村悠二郎、高橋飛、中段久登、水津文八、明神登美子、熊野貞一、坂東崇、古賀正隆、古賀一義、崎山喜聖、

大会運営委員会開かる

大会資格審査

大会資格審査委員会は四月二十七日（土）午後八時よりオリンピック記念青少年総合センター六号棟（二〇七B）で開催された。高橋謙二君（北海道）を委員長に選出し、参加代表者の会員の承認をおこなった。つぎに来る大会出席者の二八〇名、委任状を合せ二六名代表者として認定した。

大会運営委員会は四月二十七日午後八時半より青少年センター六号棟（二〇七B）でおこなわれた。委員長に窪田晌君（伊東支部）を選出し、大会目程を原案通り承認した。

学生部選出幹事　酒井義男、三谷啓次郎、谷誠人、山田行春、山本雅春、佐藤勉、樫山明弘

本部選出幹事　岡本省三、川尻秀之、管野康雄、小日山秀晴、小松信治、坂奈幸、杉浦和彦、田中英健、多田明、土谷さとる、永田清成、細井恭子、三浦満、三松敬児、渡部文雄

統制委員　飯塚祥太郎、佐々木恵美子、中川治男、小日山秀晴、佐藤暗夫、星健夫、山本雅春、石川洵、勝丘、木村功一

監査　田中英健、井上信雄

海外派遣団員募集

一、名称
十五周年記念友愛ヨーロッパ親善視察団

二、期間
昭和四十三年八月四日～二十四日

三、訪問国　八ヵ国
イタリア、スイス、ドイツ、オーストリア、オランダ、ベルギー、フランス、イギリス。

四、募集締切
昭和四十三年六月二十日まで必着。

五、募集人員　四十六名
本会会員並びに本会関係者の推薦するもの。

六、経費　三十八万円

七、受付方法
選考の上、団員に決定したものに対し三万円の補助金を出す。従って個人負担は三十五万円。その他経費約一万五千円は別途自己負担となります。
この分担金、受け入れ側の代表団の来日、更には本会の国際交流活動の内容をさらに充実させるための資金にあてます。

八、提出書類
(1) 申込書　一通
(2) 勤務先等所属長の応募承諾書　一通
(3) 推薦書　一通
本会組織代表者及び本会関係者によるもの。
(4) 作文「友愛ヨーロッパ親善視察団に応募して」四〇〇字詰三枚。
(5) 戸籍抄本　二通
(6) 履歴書　一通
(7) 健康診断書　一通
(8) 写真　七葉
(9) 申込金二万円に受付入れ分担金二万円合計四万円と(1)～(8)までの書類完備の上記へ申し込む。

友愛青年同志会
東京都文京区音羽一ー七ー一
電話（941）二八〇一
（943）一八八八

第二回目の東南ア留学生

本会の友好団体であるマレイシア青年友愛クラブ（会長ートンアブドーラ殿下）では、本会の友愛スカラーシップにより、三名の女子留学生を派遣、さる四月七日無事横浜港にフランス郵船カンボジラ号で到着した。

東京滞在は二日という短いものであったが、中青連、総理府等にあいさつまわりをした。

東京滞在後、九州で勉強するために出発した。

なお、三名の名前は、マリアンさん、ザオヤンさん、キャサリンさんである。

直言

◆十五周年全国大会は、ÖJAB会長、事務局長の来日、マレイシヤ留学生の来日など国際色もふくまれ、また、内容的には比例代表制という第二年目の実施など盛り沢山のうちに盛会裡に終了した。◆全国組織会員は、十五回全国大会で決定した一年間の方針をもって、組織に帰り、これから一年間友愛活動発展に意を新たにしたことと思う。本会は十五周年を記念してヨーロッパへ親善視察団を派遣したり一年間の活動スライドの作成、ろくと念願されていた会員証の作成などたくさんの問題が山積されている。全国組織にあっては、組織独自の事業など二三重となって活動をしてゆかなければならないことであろう。しかし全国会員諸君、友愛運動は十五年を経過し、前進の道をまっしぐらに進んでいる。国内的にも、国外的にも発展するためには、全国組織会員の一人一人の力の結集がなければ、大きなエネルギーにもならず発展もないのだ。"世界に咲かせ友愛の花"のためにも力を合わせ、苦楽をともにしよう。◆オーストリア勤労青年連盟より会長、事務局長が来日した。会長は本会々長をはじめ佐藤首相、衆参両議長、本会各役員などに本会との関係について大いにPRに努めた。この中で国際交流は、友情会館を日本とオーストリアに建設すべきであると佐藤首相に進言したところ、佐藤首相は、大変結構なことなので、ぜひ実現に向って善処するとともに、努力してほしいといわれた。全国組織会員諸君友愛の仲間は世界にいる。世界に仲間をたくさんつくる前に国内に仲間をつくろう。◆第二回目の留学生がマレイシアから三名来日した。ベトナムでは、南北に分れ戦争中であるが、われわれは、マレイシアのみならず、タイ国よりも一名留学生を受け入れることになっている。東南アジアとの提携がこれから重要な問題となる。全国組織でもさらに研究、討議されるよう期待する。◆これからは夏季事業に向う。本会活動の中で夏期事業の占める位置は、ひじょうに大きい。全国組織の会員諸君、積極的に参加し更に伸ばそう。

友愛文化祭を開催

沖縄の出し物に観客が集中

十五周年全国大会第二日目の夜、少年総合センターで友愛文化祭が午後七時よりオリンピック記念青一開かれた。

"沖縄を返せ"と歌う沖縄代表

司会は、東京学生部の岡本三雲、加藤静枝さんがつとめた。

開会に先だち瓦力常任幹事（文化部長）が挨拶をおこない、鶴巻克雄常任参与を審査委員長に、委員四名を指命して、尊はおとされた。

今回は、出し物も沢山で北は北海道から南は沖縄、更には東南アジアのマレイシヤ留学生にたるまでバラエティに富んでいた。

登別支部のやぐぎょうによる守唄、東聖学生部の「ケメチの唄」による演技、高知支部の鳴物入りの踊り、沖縄那覇支部の民謡と口を合わせ、声を大にしてうたった沖縄を返せの歌は、観客の方も思はず歌う程であった。

マレイシヤの留学生は「ムベの秘密」を日本語で歌い、大かっさいを拍した。

今回の文化祭は、概して内容があり、観客はひしょうに楽しんで交歓を深めた。

なお、文化祭の順位は、次の通りである。

一位　沖縄那覇支部
二位　高知支部
三位　東京学生部
特別賞

マレイシヤ留学生キャサリンさん

マリアンさんザオヤンさん

組織拡大は会館建設で

幹事長　尾形智矩

第十五回全国大会の開会にあたり、大会準備委員会を代表し御挨拶を申し上げます。

本日は、御多忙中のところ御出席を賜わりました石井衆議院議長をはじめ来賓の諸先生、また本会の姉妹団体であるオーストリー勤労青年連盟のブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル会長、ヨハン・フリッツ事務局長に心から御礼を申し上げます。

さらに、北は北海道から、南は沖縄まで、全国各支部を代表し本大会に出席された代議員の皆さんに衷心より敬意を表します。

本会は、友愛精神を基調として社会及び文化の全面にわたって公正な意見を博するとともに、青年の学究及び社会活動を援護し、友愛精神の実践により共助共存の実を挙げ、会組織の拡充して健全朗なる民主社会の実現と自主独立の文化、国家建設に努力することを目的として昭和二十八年四月二十九日故鳩山一郎先生の提唱により創立されて以来、ここに十五周年を迎えました。そして現在では国内はもとより国際的にもその成果は高く評価されるに至りました。

これは一重に創立以来、この運動に深い御理解と御指導をいただいた関係者の方々、全国各地で、地道にねばり強く運動を続けて来られた同志の皆さんの努力の賜であると感謝申し上げる次第であります。

しかし、我々は我々をとりまく内外の諸情勢が必らずしも楽観を許さぬものがあることを認識しなければならない。ベトナムにおいては、和平の糸口をつかみかけてはいるものの未だ真の平和が実現するには、時間を要するであります。

このような対立抗争の時代にあって我々は、友愛運動の必要性を痛感するのであります。民主体制の中にあって本会が、その徹底を図り、友愛を基とした自由、平等、友愛を徹底させ友愛社会建設のためにしょう。ドル不安による世界経済の混乱、人種差別問題、東欧諸国の政治、経済の自由化傾向等々、世界は大きく変動しつつあります。

一方、国内においては、一九七〇年の日米安保条約改定に向っての防衛問題、核問題、中国問題を中心に増々、その論戦に激しさが加わりつつあり、また反日共系学連の暴走は目にあまるものがあります。

私は、この輝かしい五周年大会に際し、本会の今後の方向として次の二点を提案したい。

まず第一は、国内組織の拡充強化であります。我々は過去の組織を総点検し、その基礎資料にもとづき組織の拡充強化に努め、名実共に我国における有力青年団体として発展させなければならない。

第二に、友愛会館の建設であります。十五周年を記念して東京に友愛会館を建設し、友愛運動の本部にしたいのであります。それには、会員が一丸となって建設運動に参加し、さらに友愛婦人会等と密接な連絡をとるとともに、関係各位の御協力を得て、ぜひとも実現したい。

第三に、友愛運動の国際化であります。本会は、一九六三年にオーストリー勤労青年連盟と姉妹関係を結び、互に協力し合って友愛運動を進める一方、東南アジアの国々にも友好団体を持ち、代表団の派遣、留学生の受入れ等を通じ密接な関係を保っております。私は、十五周年を機により多くの国々の目的を同じくする団体と連携を保ち、友愛運動を国際的に発展させたいと考えるのであります。

全国の代議員の皆さん、本日より始まる大会においては、昭和四十三年度運動方針をはじめ六つの議題案が提案されますが、それぞれの地域における日頃の運動の成果、また運動を進めていく上での問題点等を忌憚なく出していただき、そして慎重審議をおこない、十五周年を契機に友愛青年同志会が、飛躍的に発展するよう御努力下さることを期待し挨拶といたします。

青年よ！広く海外へ

内閣総理大臣　佐藤栄作

本日ここに、友愛青年同志会が創立十五周年を記念して全国大会を開催されたことを心から祝賀いたします。

友愛青年同志会は、今日、国内外で、会員の皆さんの多ならぬ努力と情熱が一心となって、今日わが国周辺の青少年団体であると聞いております。

結成されました当時、未だ社会情勢落ち着かぬ、混乱した時代で、会員の皆さんの多ならぬ努力と情熱が一心となって、今日はもとより海外にも支部をもつ、わが国周辺の青少年団体であると聞いております。

このようにして、青年諸君が、自ら努力し、向上しようとする意欲こそ、次代を担う者としてのふさわしい姿であろうかと思います。

昨年は、パン・ヨーロッパ総会で、友愛青年同志会名誉会長をしておられるオーストリアのリピアルト・クーデン・ホーフ・カレルギー伯爵の来日があり、全国準々浦々に、彼の掲げる友愛精神の必要性が報道され、普及されたと聞いております。又、本日は、友愛青年同志会の海外に於ける最初の姉妹組織である「オーストリア勤労青年同盟」会長ブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル博士と、その事務局長をしておられるヨハン・フリッツ氏が、栄えある式典に列席され、青少年の健全なる育成が叫ばれており、今日はこれらの重要性が痛感され、青少年の健全育成の確立、青年運動の振興が望まれているときはありません。

そこで何よりもまず大切なことは、青少年自身の使命の自覚と、その自主的な運動であると思います。青少年が自ら進んで明るい未来、輝かしい祖国の建設に努力するのでなければ、将来の国家の繁栄は期しえられないのであります。

このようなときに、友愛思想を基調とする友愛青年同志会が、創立十五周年記念全国大会を開催し、今後の飛躍を期されることは誠に意義深いものがあると存じます。

友愛青年同志会の指導者並びに会員の諸君には、一層の御健闘をらんことを切望いたしまして祝辞といたします。

十周年記念大会を開催す

"五十万円"を社会福祉施設に

友愛婦人会（会長＝鳩山薫）では創立十周年記念大会を去る四月十八日（木）正午より文京公会堂にて開催された。

当日は雨天にもかかわらず二千名余りの参加者で会場をうめつくした。

今大会は十周年を記念して「大川橋蔵ショウ」のチャリティショウをもりこみ、昨年度開催した「美空ひばり御興会」の益金と併せ直接、福祉施設に贈呈した。

第一部の記念式典では鳩山会長より友愛婦人会の十年の歩みを述懐し、婦人会を立派に育て上げた役員及び会員諸氏に対し、又長年にわたり支援をいただいた諸先生方に感謝を表した挨拶が述べられた。

つづいて西木まさ子幹事長より昭和四十三年度の事業報告と昭和四十三年度の事業計画が提案され、今後益々福祉活動を強化するとともに、共に独自の講演会、講習会等も積極的に取りくんでいくという新らしい事業計画が打ち出された。

次に寄附金の贈呈にうつり、昨年の事業収益金と今回の記念大会の収益金を併せ、金五十万円をまとめ福祉施設「福田会」に贈呈された。

第二部の「大川橋蔵ショウ」にうつり最初に鳩山会長、井上副会長、三浦支部長が「菊慈竜」を演じ満場の拍手を受けた。

つづいて吉村松風の「祝賀羽」のあと呼びものの大川橋蔵主演「剣の舞」、劇映「新春十番勝負」を堪能し参加者一同有意義な一日を過ごし五時過ぎ散会した。

十五周年記念パーティを開く

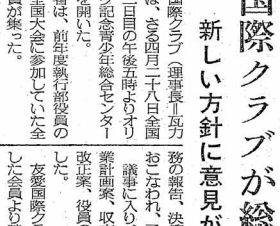
国際的ムードの中で交歓

十五周年記念式典終了後、記念レセプションを駐英大使館の会議室に会場を移しておこなった。

司会は、瓦力常任幹事がつとめた。

出席者は、記念式典に参加した全国代表者、来賓各位、本会関係者、さらにオーストリアよりはるばる参加されたオーストリア勤労青年連盟ブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル博士（会長）、ヨハン・フリッツ事務局長、マレイシヤ女子留学生で、国際色も豊かで、会場は立錐の余地がない程であった。

来賓あいさつは、内藤誉三郎参議院議員、元文部大臣剣木亨弘参議院議員等、また本会名誉役員で



民謡を歌うマレイシヤ代表

は長谷川進一顧問、奥田吉郎常任相談役が力強い激励を含めたあいさつをおこなった。

続いて、OJAB会長ブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル博士が、日本とオーストリアの友好親善を更に深めるためにと、日本語でスピーチをされ、会員一同大いに感銘した。

人づくりは友愛精神で

衆議院議長　石井光次郎

本日ここに、友愛青年同志会が創立十五周年を記念して全国大会を開催されるにあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

友愛青年同志会は、昭和二十八年発足以来独自の目的と理想を掲げ、多岐にわたる活動を展開して友愛精神の普及に努め、青年運動に新風を吹き込み、わが国青年運動の中に確固たる地位を占められるにいたりました。

昨今の世情を顧みますとき、一部においては、社会秩序の無視や暴力的な風潮があらわれたりす、青少年の健全なる育成が叫ばれており、今日はこれらの重要性が痛感され、青少年の価値観義の確立、青年運動の振興が望まれていますその意味で、皆さんは、視野を国内はもとより、海外にも求め、友愛思想の普及を通じて、人類の平和に寄与されることを期待するものであります。

創立以来十五周年目を迎えられた友愛青年同志会が、これからも地道な活動を積み重ねられ、普実な発展をされることを念願致しまして、わたしの祝辞と致します。

国際クラブが総会

新しい方針に意見が集中す

友愛国際クラブ（理事長＝瓦力君）では、去る四月二十八日全国大会第二日目の午後五時よりオリンピック記念青少年総合センターで総会を開いた。

出席者は、前年度熟行部役員の外に、全国大会に参加していた全国の会員が集った。

開会のことばに続いて、一般会務の報告、決算報告、監査報告がおこなわれ、承認された。

議事に入り、昭和四十三年度事業計画案、収支予算案、規約一部改正案、役員の選出について審議した。

友愛国際クラブ発展の為に出席した会員より建設的な意見が沢山出され、その意見を更に検討してもう二度詳細については、理事会で協議することになった。

大会点描

十五周年記念式典にはるばるオーストリア勤労青年連盟より会長ブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル博士事務局長ヨハン・フリッツ氏が参加した。本会姉妹組織としての関係を今回の来日ほど緊密にするものはない。記念式典後は、オリンピック記念青少年総合センターで本会全国組織代表者に「今日の青少年の諸問題」と題して、内容ある講演がおこなわれ、本会代表者は拍手を送った。このような人間的つながりが、これからの相互の発展の礎になるのではないか。

沖縄より代表が四名参加し、各分科会、懇談会等を通して本土復帰を訴えた。沖縄では、沖縄の歌、舞踊をおこなったあと、代表四人が心を一つに「沖縄を返せ！」と叫ぶさんだ。本会代表者もこの時との様な考え方を持ったのだろうか。沖縄は、日本であり、本土のわれわれ全国組織会員は、復帰に全力を挙げて協力したいものだ。

促進するためには友情の会館を作るべきであると力強くあいさつをして、拍手かっさいを受けた。

その後、余興により、マレイシヤ代表が、マレイシヤの民謡をうたったり、OJAB代表が昨年オーストリアを訪問した人々と一緒に歌を歌ったり、また本会に反好的な友利健三君のフォークソングありで、内容は楽しく充実したものであった。

最後に、鳩山薫会長とブルーノ・ブーフ・ヴィーゼル会長の御健康と御多幸を祈って、川手正一郎常任参与の音頭で万歳三唱をして閉会した。

株式会社中嶋組
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区玉川町二の五九
電話（七〇二）一三三〜四番

営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事

綜合警備・各種建築内外清掃
ボイラー・電気保守管理業
指定　北海道教育委員会・札幌市教育委員会
室蘭市教育委員会
株式会社日本製鋼所
東洋実業株式会社
代表取締役　吉川昭市
副社長　向田忠一
本社札幌市南1条西2丁目（勧銀ビル8階）
電話 代表25－2211内線219
直通26-9520・9521夜間直通25-2217
営業所　釧路・帯広・室蘭・苫小牧・岩見沢

日盛商事株式会社
東京都千代田区外神田4－5－4　亀松ビル
TEL東京(03) 253－7581～5

創業25年余の伝統と技術を誇る！
特殊切削工具メーカー
森山精密工具株式会社
取締役社長　五十嵐省吾
本社工場　東京都品川区西大井6－14－3　TEL (03) 774－0881（代）
第2工場　東京都品川区豊町2－8－7　TEL (03) 783－6405
営業所　東京都墨田区東向島6－52－5　TEL (03) 614－4197（代）

国内問題を中心に
地域に結びついた運動中心に

第一分科会は、四月二十八日、二十九日オリンピック記念青少年総合センターで、本部役員、全国組織会員約七十名が参加して開催された。

付託議題案は、昭和四十三年度運動方針案の第一号議題と大会宣言についての第六号議題案であった。

本部担当役員は、尾形智雄幹事長、越川隆（国際部長）、秋山貴慶（体育部長）、瓦九（文化部長）、清水文夫の各常任幹事であった。

初めに議長の選出に移り、和歌山県田辺支部の野村悠一郎君が、満場一致で選ばれ、続いて富山の任命に移り関東学生部の佐藤悦子、浅野久美子両嬢が指名され、議事に入った。

第一号議題案「昭和四十三年度運動方針案」の審議に入った。

議題案の提案説明を尾形智雄幹事長がおこない、「本年は、十五周年を契機として更に国内組織の拡充強化に努める。また青少年の海外への強い要望もあるので国交流活動も具体的に推進してゆきたい。更に、友愛運動のメッカとしての「友愛会館」の建設は、本会組織のみならず、友好組織、外郭組織、財界等の協力を得て強力に推進したい」と本年度の運動方針に沿っての提案理由の説明があった。

質疑に入り、一内外の諸情勢について「ベトナム」についてキリスト教団等は、活動をしているが本会の活動はどうであるかとの質問があり、本会としては、友愛東南アジア使節団、また、ベトナム平和に関し、立派な活動をしている運動に対し協力しているとの答弁があり了承された。

また、本会の基本的態度について質問があり、民主主義体制において、本会は、民主主体制を堅持してゆくのが基本的な態度であるまた、現在の自由、平等が望んで行われていない面者のかけ橋として友愛改革されなければならない。政治に対しては、特定の政党議員と本会組織として関係することはできないが、政治に関する学習については、大いに全国組織で勉強して欲しい。

また「福祉国家」建設について質問があり、友愛の旗のもとに結集してゆくというのでは、あまりにも抽象的でありはしないか。これについて、世界各国の青少年団体と交歓交流をおこない、友愛精神による福祉国家建設の具体的な活動をおこなっている。

国際交流活動については、派遣されていたものが、帰国後、その成果を十分に生かしていない面が多いのではないか、また、本部は、「国際交流活動に重点を置きすぎてはいないかとの質問があり、帰国後の活動は、これまでは十分とほいえなかったが、本年を契機としてこれ迄の反省の上に立って立派な活動をするものを派遣するこの国際交流活動に重点をおきすぎているのではないかとの点について、国内、国外の活動は、車の両輪であるので、力の均衡を保って更に発展させたい。

沖縄の復帰については、更に深い理解と全国組織の全面的バックアップをもって、完全復帰できるよう努力する。その一つとして「友愛の森」建設的にさらに、北方領土の問題に対しても積極的に取り組んでゆく。

支部活動への援助として欲しいとの意見があり、現在支援体利はできていないが、事業所施にあたり計画書を本部へ提出してくれれば、本部で審議し、できるだけ援助するように努力したい。

第1分科会

友愛会館の建設にあたっては、全国組織同志が一致団結してゆかなければならない。また会館建設実行委員会（仮称）を設け、幅広くこの運動を推進してゆきたい。

以上のような疑問の後、全員一致で承認された。

第六号議題案「大会宣言」については「相互援助」をこれからの友愛の三本柱にもう一つ加えるべきものとして、この一年間考慮することになった。

満場一致をもって承認された。

要望事項として、大会要綱の中に一年間の反省を加えて欲しい。更に、地方でおこれた行事を記録して欲しいとの意見が出された。

十五周年を契機として「十五年の歩み」を作成して欲しい。との意見がでた。

以上を もって、第一号 議題案「昭和四十三年度運動方針について」第六号議題「大会宣言について」付託された二議題が可決され今年一年間実施することになった。

第2分科会

友愛思想の啓発を
学習、事業の中で友愛を実践

第二分科委員会は四月二十八日午後一時から三時間、二十九日は午前八時～四時の計七時間にわたり審議された。

付託議題案は第一号議題案、昭和四十三年度事業計画について、第二号議題案、昭和四十三年度予算案についての二議題案を審議した。

担当役員は早川広中、田中祥子、派野元晴、三浦吉治、十川昭五、辻谷勝弘の各常任幹事が出席した。

まず議長の選出に入り伊東支部の館明君を満場一致で選び議長よりの紹介に森田恵子さん、深沢美穂さんを指名し議事に入った。

第一号議題案、昭和四十三年度事業計画については

友愛普及活動に全力を傾注すべきこと友愛思想の普及、啓蒙を年間を通じ計画的に実施することが強く要望された。その具体的な方策として友愛普及のための地方巡回を第四号議題の組織活動方針に従い組織的に推し進める、又友愛婦人会員の提携を強め婦人層への浸透を深める、又各業種別組の啓蒙活動を行い会組織を盛り上げていく、さらに各出荷での普及啓蒙を強め重要な処点とする。そして友愛普及月間を設け充実した普及活動を行い会組織を盛り上げていく、さらに各出荷での普及啓蒙を強め重要な処点とする。

学習活動の盛り上げが強く要望された。学習教材もり伯来日を契機に「自由と人生」「力伯講演録」「友愛の理論と実践」等々が充分に整備された時であり、講師陣も整え、全組織に学習ムードの盛り上げを計るべきであるとの意見が出された。また本部主催の講習会研修会には広く一般会員も参加出来るような方策を取るとともに参加費等の面における本部援助を積極的にはずべきであるとの意見が出された。

社会教育活動として実施している国際道義高揚「友愛キャラバン隊」は二ヶ月～三ヶ月の期間内だけ実施しているが、あらゆる機会をとらえ年間を通じて幅広い活動を推進するよう組織に働きかけるべきであるまたこれとともなう経費についても若干の補助も考慮すべきであるとの意見が出された。

次に国際交流活動については国際交流が盛んになるにしたがいやはりもっと国内の諸活動がおろそかになる傾向が見られるとの意見が出された。これれまで本部より指摘のように国内活動に悪影響を及ぼす恐れは十分に考慮して実施しているとの答弁があった、又十五周年記念ヨーロッパ親善視察団派遣について三十八万円の経費はかかりすぎ一般会員は応募できない、又派遣にともない本部予算が使われてはいないかとの質問に対し、三十八万円の経費は他の派遣例と比較してもかなり安価になっている、又派遣に伴う経費については本部の一般会計に負担がかかることのないよう努めている。事実国際交流会計は黒字の決算が出ている。

次に青少年体力向上活動について議題案にはスキー・スケート教室が削除されていることに関して本部主催事業とする趣のものではなくむしろ各支部および連合体で実施すべきであるとの意見にわかれ議論されたが前者の意見が多数をしめ例年どうり実施すべきであるとされた。

社会福祉活動についてはこ何年間停滞しているので、本部が率先して実施すべきであるとの意見が出された。

次に昭和四十三年度予算が審議された。早川事務局長より提案理由が説明された後、蔵入の部、歳出の部について審議された。財団法人日本友愛青年協会との財政的な問題についての論議があったが予算大綱は原案通り可決され第二分科委員会に附託された全議題案を審議終了した。

第3分科会

組織拡充に重点を
本部と地方組織が一体で

第三分科委員会は第四号議題昭和四十三年度組織活動方針、及び第五号議題昭和四十三年度役員選出について附託され、四月二十八日午後一時より午後四時まで、四月二十九日午前一時より午前十二時までの二回に分けて青少年総合センター、六号棟「ロビーB」でおこなわれた。

参加代議員は五十名で、分科会委員長に亀山支部の伊藤秀雄副支部長を選出し、議事に入った。なお本部側として張西五六、中川治男、佐々木恵勢子、飯塚祥太郎長田正太郎各常幹と、齋行実情富部長が出席した。

議事に入って先ず、第五号議題案昭和四十三年度役員選出について討議され、名簿会長より、幹事長国際交流委員長、事業委員長、事務局長、会長、副会長、会計、監査、理事、評議員、顧問、相談役、名誉会長、名誉顧問、名誉理事、名誉会

地方だより

東濃支部結成さる

県連強化へ山内（支部長）君中心に

【岐阜発】岐阜県東濃地区において昨秋より、東濃支部結成準備委員会（委員長＝山内喜典君）によって支部結成の努力が続けられていたが、四月二十一日（日）午後二時より多治見市内の坂上児童館において、結成大会を行なった。

当日は、汗ばむ程の快晴に恵まれ、岐阜県青少年センター小島局長、多治見市丹羽社会教育課長等四名を来賓に迎え、本部より、早川事務局長、県連より大洞会長、永田副会長、岐阜支部より三名の出席があり、準備委員、会員等約五十名の参加により、盛大に行なわれた。

結成大会は、小木曽有皇子さんの司会によって始まり、山内準備委員長の経過報告、来賓祝辞、早川事務局長の本部挨拶、祝電披露、高木重則君による結成宣言があり、最後に友愛の歌斉唱によって盛況裏に結成大会を終了した。

続いて第一回支部総会に入り、議長に山内喜典を選出し、一、支部規約案、一、支部執行委員選出、一、事業計画が審議され準備委員会原案通り承認された。

審議の後、山内新支部長以下新支部執行委員九名の自己紹介と大洞県連会長の挨拶があり総会を終えた。

総会終了後、準備委員会用意の歌集により「友愛の歌」他数曲を合唱し、岐阜支部会員の指導で、ゲームを行なう等、楽しい一時を過し、全日程を終了した。新支部執行委員は次の通りである。

支部長　山内賢典
副支部長　渡辺康重
副支部長　小木曽有皇子
事務局長　市川鉱二
事務局次長　水野博允
会計　石橋ふみ子
組織部長　宮島勝洋
文化部長　肥田美智子
企画部長　水野博允
編集部長　松原寿

※新事務所　岐阜県多治見市宮前町二の二六・山内賢典方（電話多治見22〇七六二番）

◆結成宣言◆

見然界も新緑に輝き、新しき生命にあふれるこの、我々は「友愛」の高揚を理解し実践したいと願い、東濃地区の有志を募り、ここに友愛青年同志会東濃支部を結成する。

現代、青年の多くは、無自覚な主体性のない、一見平和ムードあふれる安易な人生に陥っているように思われる。

明日を担うべき我々にとってこの様な現実は憂慮に耐えないものである。

現在の我々にとってもっとも重要なことは、既成の社会通念、上からの、お仕着せの人生観、社会観によることなく、我々ひとりひとりが、真に自分自身の良識、哲学を持つべく努力することにあると確信する。

我々は、友愛青年同志会東濃支部を友好、学習の場とし、人間の連帯意識をこいもとし、我々自身の使命と力に自覚め、自己の確立と未組織青年の啓発に努力し、社会の発展に寄与したいと願うものである。

昭和四十三年四月二十一日
友愛青年同志会東濃支部

（結成後の記念写真）

城北地区に支部結成

田中英支部長の下で機動力を主体に

城北支部結成準備委員会（委員長＝仲村祥司君）は、去る四月二十一日（日）午後、時から東京北区の王子工業会館で結成大会を開催した。

当日は、本結成、相談役　柳沢氏、常任参与飯島清氏、柳沢定勝氏、川手正一郎氏を迎えれき、また本部から総務部長大谷勝弘氏、東京都支部連合会田中祥子会長らが列席し、会員約六十名が参加して盛大に行なわれた。

大会は、春田博之君の司会により、会綱朗読、仲村祥司準備委員長経過報告、田中英健君による結成宣言、本部代表挨拶、支部旗授与が行なわれた。続いて石井敬子氏、深津栄一氏、田辺克育氏、荒井俊五郎氏ほかより祝辞があり、最後に田中洋子君運営委員の指揮で友愛の歌を全員で合唱し結成大会の祝典を終えた。

引き続いて永形喜輔先生（日本社会学会会長、郡馬大学教授）の「青年とグループ活動」と題する記念講演を行なった。その中で先生は、グループ活動の意義をむつかしくを笑いを混えて語られ、当支部の出発にふさわしいものであった。

この後第一回総会を渋原信平君の議長に行ない、規約、基本方針、事業計画、予算が審議され、万場一致で原案通り承認され、次に役員の選出に移り、支部長田中英健君（日大大学勤務）以下十一名を選出し、午後四時に全日程を終了した。

常任委員は次の通り。

支部長　田中英健
副支部長（外務）　齋田博之
同（内務）　下岡郁子
事務局長　尾崎富雄
事業部長　小泉秀夫
編集　田中恭一
情宣　仲村祥司

（挨拶をする田中支部長）

北海道連大会開く

"友愛精神を会員から"の運動推進

【北海道発】北海道連（会長＝原田喜市郎君）では、去る四月十四日午前十一時より札幌市郊外、定山渓北泉閣に於て本部より早川事務局長を迎え、第八回友愛青年同志会北海道支部連合会定期大会を開催した。

大会は大会幹事局の開会の辞に始まり、君が代斉唱、会綱朗読、原田連合会長挨拶、早川本部事務局長祝辞、北海道教育庁田村氏等、来賓各位の祝辞、大会成立宣言の後、議長団に佐賀、戸田、新田の三君を選出し書記を任命して報告事項に入った。

昭和四十二年度経過報告、会計報告、会計監査報告を会員一致で承認し、議事に移った。まず、昭和四十三年度事業目標、予算審議を経て、道連会則改正案を審議、これを採択し。ついで、役員改選大会宣言が朗読採択され、会員で精神に根ざして、さらに努力、前進することを銘肝した。

また本年度は、とくに地区活動にも力をいれ、ブロック別読書会、研究会をとおして会員個々の意識向上に努め、相互啓蒙、相互扶助、真の福祉国家建設を目指して、なお相互理解の三原則をもって本会のなおいっそう発展した活動を推進していくことを確認、とくに、本大会において学生部より提唱のあった、北方伸一問題とも真剣に対決していくことを固く誓いあった。

本会内問題についても、徒らに会員の数を追うことなく、真に自覚ある個々の集合体にその意義を求め、あくまでも本会の主旨にかえ再確認し、これを育成、そして集大成していくことを確認した。最近とくに若い会員がふえ、身をもって実践しようとする積極的バイタリティーが育ちつつあることは、本会の将来ともかんがみあわせて、まことに喜ばしいことである。

尚四十三年度新役員はつぎの通りである。

会長　三浦吉治
副会長　菅松誠樹
高橋謙二
小池雄三
星野清成
大谷さとる
幹事長　服部宗俊
副幹事長　堺征郎
常任幹事　長岡昭、松本雅弘
武山守
木村文和、今川勝之
幹事　木村睦子、青木優子
西田稔、新井田和雄
千田惠三、谷村忠彦
横山孝子、飯塚仁
新井山和雄、河端広
三、五百蔵博子
西内義雄、川崎信
山上泰一、吉田孔一
渉外　阿部一男
庶務　石黒秀明
体育文化　村瀬惠子、松浦佐代子
会計　佐藤幸子
会計監査　尾沢治一郎、吉田正夫、川尻秀之

※事務局　札幌市南一条西三丁目（勧銀ビル）東洋実業内
事務局長　三浦克弘
〃　次長　佐藤昌弘
会計　佐藤是安、正之
〃　行義
〃　保彦
会計監査　砂川吉弘
高橋広文
統制委員　石川毅志
武山守
高橋延幸
進藤雅弘
中津寛

※事務局　石黒秀明
会計監査　松浦佐代子
村瀬惠子
佐藤幸子
会計監査　阿部一男
※事務所　東京都北区王子本町三の一〇の六　田中方

念願の支部作らる

東北地域組織拡大の拠点に

【秋田発】秋田支部結成準備委員会（準備委員長＝山崎敬男君）では去る四月二十一日（日）午後二時より、秋田市内会館第一つどいの間に、約二十名の会員をもって支部結成を計ったが。

新役員
支部長　古家隆男
事務局長　松田俊次
会計　江畑典子
会計監査　中村徹
同　長井正蔵
支部委員　鈴木栄一、田村誠助、清水善明、河田康子、青木キミ

※新事務所　秋田市南通り亀の子十一―九、松田方

北九州支部が結成

九州北部地域の組織の拠点に

さる四月七日北九州支部結成準備委員会（委員長＝三松敬児君）では、かねてより結成の準備を進めていたが、このほど支部結成を本部より尾形智矩幹事長の出席を得て盛大に開催した。

なお、新設員ならびに事務所は次のとおり決定した。

支部長　三松敬児
副支部長　井本信六
事務局長　馬場徹
会計　尾形洋子
会計監査　児森喬
支部役員　井本信太郎
総務部担当　馬場徹
組織部担当　尾形洋子
森友繁昭
井本信六
文化部担当　福井洋子
金沢智吉子
体育部担当　原田央々絵
藤本惠子
事務所　福岡県北九州市小島区組屋町一丁目
森野喜久蔵方

初めての支部結成

支部長に山下元利君を選ぶ

【滋賀発】滋賀支部結成準備委員会（準備委員長＝内田不二男君）では、去る四月二十一日（日）午後、時より、大津市の滋賀会館において支部結成大会をおこなった。

開会の辞を三宅将史君がおこない、結成までの結果報告を内田不二夫準備委員長がおこなった。

議事としては①支部規約制定の件、②運動方針の件、③収支予算案議案の件、④全国大会代表者派遣の件、⑤役員選挙の件の五議題であった。①については本部の規約準則に基づくものであり満場一致で承認された。②については情宣部により友愛思想の普及と、交通安全広報紙による交通安全意識の高揚に努める。③については事務所を借りて上げ、女子職員を置くこととし、交通安全広報紙の刊行等を含み約五〇万円の予算が承認された。④については、内田、三宅両君が出席することを決定、⑤については別記の通り役員を選出して結成大会を終了した。

なお、本部より早川広中事務局長が出席した。

※新事務所　滋賀県大津市京町三丁目、滋賀会館内

※新役員
支部長　山下元利
事務局長　内田不二夫
会計　三宅将史
組織部長　高島秀実

小牧支部

第二回総会

【小牧発】去る三月三十一日（日）午後一時より小牧支部は、小牧市青年の家に於て、第二回総会を行った。

新役員の主なものは次の通りである。

支部長　永田広和
副支部長　川崎準一
副支部長　宮地克己
事務局長　高木邦弘
事務局次長　伊藤京子
会計　長森均
渉外広報部長　成瀬本
事業部長　塚原敏夫
会計監査　舟橋稔
　　蓉合秋弘

沼津支部結成さる

【沼津発】去る四月二十日午後六時半より沼津市大手町会館において約四十名の参加者により沼津支部結成大会が行なわれた。

当日は伊東、三島両支部からも会員がお祝いにかけつけ、本部からは斎藤美情報宣伝部長が列席した。

会は藤木健生君を議長に選出し坂口裕子さんの司会で開会された。坂口裕子さんより経過報告があり、役員選出を行ない、今後の活動方針等を話し合い、散会した。

役員は次の通り

支部長　石谷紘一
副支部長　藤木健生
同　勝又淳江
事務局長　坂口裕子
会計　加藤浩美
会計監査　手島和博
同　金子秀文
幹事　岩間洋子
同　工藤利子

大会議事終了後アトラクションにつづき、友愛三君のフォークソングに一同なごやかな雰囲気にひたることが出来た。

世界の友愛青年同志会

4／1「産業界に新人を迎える集い」（後六時　於東京都体育館）
2　世界連邦日本青年協議会第九回定期総会準備委員会
第四回会議（後六時　於アジア会館二階B室）
6　友愛婦人会定例役員会（後一時半　於離れ）
世界連邦日本青年協議会第九回定期総会（後二時　於尾崎記念会館）
全国大会地方議題案提出締切
7　早朝墓参会（後六時半　於谷中墓地）
北九州支部結成大会（後一時　於小倉ステーションビル）
マレイシヤ留学生横浜港到着（前九時　於横浜港）
8　沼津支部再建準備会（後六時　於沼津共済ビル二階）
中青連特別委員会（後二時　於中青連事務局）
オリンピック世界青少年キャンプ理事会（後四時　於全国町村会館別館九階）
9　友愛国際クラブ理事会（後六時半　於本部）
メキシコキャンプ財務委員会（前十一時　於体協）
10　第一回田方支部総会（後六時半　於伊豆長岡観光会館）
11　全国大会第五回準備委員会（後六時半　於本部）
13　友愛思想研究会（後六時　於三島市）
14　北海道連大会
城西支部総会（後二時　於鳩山邸離れ）
城北支部結成準備会（後一時　於王子青年館）
15　選挙法改正運動協議会（後事会後一時半　於日青館）
17　統制委員会（後六時半　於本部）
18　友愛婦人会十周年記念大会（正午　於文京公会堂）
第十二回執行部会議（後六時半　於本部）
20　オーストリア勤労青年連盟会長一行来日（後九時二十分　於羽田空港）
滋賀支部結成大会
東京大学生支部総会（於出版健保会館）
沼津支部再建大会（後六時半）
21　東濃支部結成大会（後二時　於多治見市坂上児童会館）
秋田支部結成大会
城北支部結成大会（後一時　於王子工業会館）
22　ÖJAB会長打合せ会（前九時　於ホテル・ニューオータニ）
ÖJAB会長、鳩山会長訪問（前九時半、於鳩山邸）
青年青成国民会議幹事会（後三時、於会館）
23　都連常任委員会（後七時　於本部）
27　第十五回全国大会記念式典（後一時　於尾崎記念館）
28　第十五回全国大会（於オリンピック記念青少年総合センター）
第十二回幹事会（前八時半　於オリンピック青少年センター）
29　第十五回全国大会
ÖJAB会長記念講演会（後一時、於オリンピック青少年センター）
30　ÖJAB会長一行離日（後六時三十分　於東京国際空港）